

信州大学における災害対応に関する基本方針

学生等及び教職員の人命の保護を最優先に行動

災害発生時には、迅速に園児、児童、生徒、学生（以下、「学生等」という。）及び教職員の安否確認を行うとともに、授業中等においては、安全確認を行ったうえで、教職員が学生等を避難場所に誘導します。

学生、教職員、役員の全員の協力、連携による災害への対処

学生、教職員、役員の全員が協力、連携して災害に立ち向かい、学生、教職員等の安全確保、被災状況の把握及び早期の復旧に迅速かつ全力で取り組み、社会的責務を果たします。

二次災害の発生を防止

初期消火、防火に努め、また、倒壊する可能性がある建物など危険箇所への立入禁止、立入制限を迅速に行い、二次災害の発生を防止します。

迅速かつ適切な医療救護による地域医療への貢献

災害発生時の災害拠点病院として迅速かつ適切な医療救護を行うとともに、要請に応じて、DMAT（災害派遣医療チーム）を始めとする医療支援チームの派遣を行い、地域医療に貢献します。

安全かつ安心な地域社会への協力

避難者、帰宅困難者の受け入れ、その他の災害対応や災害復旧において地域へ積極的に協力します。地域における拠点としての本学の機能を活かし、安全かつ安心な地域社会へ協力します。

災害発生に対する普段からの備え

災害に対する危機意識を高め、災害対応に関する不断の見直しを継続するとともに、防災訓練を実施するなど、普段から災害の発生に備えます。